

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援くるくる		
○保護者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年4月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 8
○訪問先施設評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月19日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価作成日	2026年4月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先施設との連携と信頼関係の構築	助言や説明の際に、内部で共有しやすいように具体的な資料を作成・提供しています。また、対象児に長く関わることで、これまでの経過や長期的な目標を意識した支援・助言を行っています。	引き続き、こどもを中心とした情報共有や支援の検討を行うとともに、必要に応じて支援内容の共有ができる資料を作成していきます。また、年度替わりなど訪問先施設の体制に変化が出るタイミングでも、対象児や関わる人が困らないような引き継ぎに努めます。
2	保護者の高い満足度と、対象児に応じた適切な支援の提供	対象児のニーズを保護者と施設側のアセスメントで確認し、実際に複数のスタッフで学校等の様子を見学するなど、客観的に課題を捉えています。個別支援計画は、事前にスタッフ間で話し合った上で児童発達支援管理責任者が原案を作成し、更に関わるスタッフで意見を出し合って作成しています。	引き続き、こどもの特性等に応じた専門性のある支援と丁寧な説明を心がけます。家庭と訪問先施設の橋渡しとしての役割を担い、関係機関と連携しながら、障害のあるこどもの受け入れやインクルーシブな社会の実現に向けて支援を続けていきます。
3	職員間の密な情報共有とチームアプローチ	日常的にチャットツール等を利用して前回の様子の共有や支援の振り返りを行い、支援の検討をしています。また、定期的なミーティングやオンラインでのコミュニケーションを活用し、意見交換を行っています。	現在、他事業所との兼務体制により、多くの職員がミーティング等に参加しづらい現状があるため、より広く職員が業務改善(PDCAサイクル)に参画できるよう、参加方法や情報共有の仕組みを検討していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員配置の偏りと特定の職員への業務負担	ST(言語聴覚士)に対する支援ニーズが高い一方で支援員数が限られており、訪問調整が難しいケースがあります。また、アセスメントや個別支援計画の作成にあたって、児童発達支援管理責任者への業務負担が大きくなっています。	支援ニーズに広く対応できるよう、人員の確保や訪問調整の工夫を検討します。また、特定の職員に業務が集中しないよう、アセスメント時の標準化されたツールの導入検討などを含め、業務の分担やスタッフ間のサポート体制を見直していきます。
2	安全管理・緊急時対応等の体制未整備と保護者への周知不足	事故防止や緊急時、感染症等の各種マニュアルに基づく訓練の実施や、安全計画の作成・研修受講が十分に行えていません。また、やむを得ず身体拘束を行う場合の事前の組織的決定や計画への記載も未実施です。そのため、保護者へ安全確保の計画等を十分に周知できていないという課題があります。	各種マニュアルの整備や発生を想定した訓練の実施、安全計画の作成を速やかに進めます。身体拘束が必要となる場面についての保護者への事前説明や計画書への記載方法についても検討し、保護者が安心できるよう丁寧な周知に努めます。
3	家族支援プログラムの不足および外部機関等との連携課題	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)、研修については開催できていない現状があります。また、第三者による外部評価の未実施や地域協議会等への未参加等の課題があります。	家族同士の交流については家族交流会を毎年開催しており、継続していきます。家族が参加できる研修や情報提供の機会、ニーズに応じた家族への支援方法を検討します。また、自己評価だけでなく外部評価による業務改善や、地域ネットワークとの連携強化を図ります。保護者や訪問先施設との情報共有においては、適宜カンファレンスを開催することができており、引き続き連携を深めていきます。

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 保育所等訪問支援くるくる

公表日 2026年 5月 29日

利用児童数 5

回収数 4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4	0	0	0		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1	0	0	3		ご家庭に訪問して話を伺っているため、面接室等で対面できやりにすることがありません。一方で、家族支援としてオンラインで面談をする場合は、個室を用意して面談を行っています。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	4	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	4	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	3	0	0	1		他事業所との兼務体制であるが、引き続き体制を支援が継続できる体制の構築に努めたいと思います。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	0	0	0		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	3	0	0	1		アセスメント評価にて訪問先施設や担任等の意向について確認しています。個別支援計画にも反映させ支援につなげていきたいと思っています。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	0	0	1		引き続き、具体的でわかりやすい支援内容の設定に努めていきたいと思っています。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
保護者への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2	0	0	2		家族からの相談に対して情報提供の機会が設けられているが、研修会の開催には至っていないため、ニーズに合わせて対応を検討していきたいと思っています。
	15 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	4	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	1	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	0	0	0		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	0	0	0		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	0	0	0		
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3	0	0	1		訪問先施設からの相談に対して、保護者がわかりやすい形で対応記録の記載や公開を行ってきたいと思っています。	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3	0	0	1	訪問先施設との話し合いの内容についても保護者がわかりやすい形で内容の記録や公開を行っていききたいと思います。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	4	0	0	0	
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2	0	0	2	法人内の通信で事業についての情報共有を行っていました。今後も定期的に配信していききたいと思います。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0	0	0	
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	2	0	0	2	緊急時対応については、訪問先施設での対応に準ずる形を考えておりますが、連携できるようにしっかり情報共有をしていききたいと思います。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	0	0	2	安全を十分確保して支援を行っているが、安全を確保するための計画について周知できていない現状があり、今後計画での共有など検討していききたいと思います。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	4	0	0	0	
	28	事業所の支援に満足していますか。	4	0	0	0	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 2026年 5月 29日

保育所等訪問支援くるくる

利用児童数 5

回収数 4

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	4	0	0	資料をいただけることで、内部で共有しやすく助かっている。	引き続き、必要に応じて資料の作成など、支援内容の共有ができるように努めます。
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3	1	0	対象に長く関わってくれていることで、長期的な視点から生まれるアドバイスをいただけることがありがたい。	引き続き、今までの経過や長期的な目標を意識して支援や助言を行っていきたいと思います。
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3	1	0		
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3	1	0	・学校でポイントとなる年度替わりのポイントで支援をいただける見通しである。担当が変わる中で一貫した支援をしていくために、貴施設と継続的に関わることが児童によって有益となると考えられる。 ・始まったばかりなので、まだわかりません。	年度替わりは、訪問先施設の体制に変化が出るタイミングになるため、児や関わる人が困らないような引き継ぎができるよう関わっていききたいと思います。
5 事業所からの支援に満足していますか。	3	1	0	・子どもを中心とした情報共有ができ、非常に有意義な時間になっています。 ・始まったばかりなので、まだわかりません。	引き続き、児を中心とした情報共有、支援の検討を行っていききたいと思います。
その他のご意見	ご意見を踏まえた対応				
・今回とは別に、家庭と学校との連携が円滑でない場合、この事業が貴重な橋渡し役になり得るケースがあると考えられる。より幅広い事業の展開を期待します。 ・打ち合わせからこれまでの、ご支援ありがとうございました。 訪問支援のご協力のおかげで、受け入れることの出来た園児でしたので、ご協力に感謝しています。	家庭と訪問先施設との橋渡しも保育所等訪問支援の大切な役割の一つだと考えております。今後も本人、保護者、訪問先施設、関係機関と連携しながら支援を行います。受け入れに不安を感じる保護者・訪問先施設の思いを理解し、今後も障がいのある児の受け入れやインクルーシブな社会の実現に向けて支援を続けていきます。				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		保育所等訪問支援くるくる		公表日		2026年 5月 29日	
		チェック項目	はい		工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
			はい	いいえ			
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	8	0	・時には手作りのものを使用。作り方やこういうものがあるといい、とお伝えできるフェーズになっていけたらいいと思う。 ・購入することなく、手に入る材料で対応できている。 ・対象のお子さんに合わせて、専門職・学校・保護者と相談しながら提示できていると思う。 ・特別支援学校のセンター的機能も活用して対応することができた。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・STニーズの高さと、訪問調整の難しさはある。 ・支援員は他の業務の調整をしながらではあるが概ね希望者に対応できていると思う。STのニーズが多いのに対し支援員が少ないため調整が必要なことがある。アセスメントや個別支援計画の作成にあたって児発管の負担は大きいと思うので人数を増やせたら良いと思う。 ・今後利用者増加に伴い不足する可能性がある。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	2	・定期的にミーティングなどで振り返りを行なっている。 ・定期的にミーティングを行ったり、オンラインでのコミュニケーションを利用して振り返りを行なっている。	定期ミーティングやICTを活用したコミュニケーションを図っているが、他事業所の兼務体制により、多くの職員が参加できる状況にない現状もあると考えます。より広く職員が参加できるような方法を検討する必要があります。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	必要に応じて、保護者への連絡を密に取るようにしている。		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	ミーティングや職員同士個別に意見を出し合い、反映させている。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3	・私自身はまだ第三者の評価は受けていない。 ・第三者による外部評価がどのように行われているか把握していませんでした。	外部評価を受けていない状況であるが、自己評価による業務改善を進めていく必要があります。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	・法人ないでの情報共有や意見交換は常に実施している。 ・関連する勉強会などがある時は共有され、他事業所の保育所等訪問支援の実践例などを知る機会があった。		
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	8	0	・他部署や他機関との連携と情報収集はしっかり行っている。 ・保護者と施設側のアセスメントによりニーズを確認し、実際に複数のスタッフで学校等の様子なども見学し、課題を客観的に捉えることができていると思う。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・ミーティング等での情報共有や計画書の共有をスタッフ間でしている。 ・支援計画作成時は事前に児発管と支援スタッフがアセスメントを元に話し合ったのちに児発管が原案を作成し、更に関わるスタッフで意見を出し合っており、追記・修正などをして作成できている。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	8	0	・先生からの意向に対して、どのように進めていくのか丁寧に説明している。 ・訪問先施設の困りごとや学習等に対する意向を確認して、それをサポートするという立場で支援計画を作成できていると思う。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	情報をスタッフ間で教習しているので、意見交換ができる。		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2	・フォーマルなアセスメントに関しては、くるくるにおいては導入の難しさがあるように思う。(医療的ケア児の何かしらを評価するバッテリー自体があるのか不明) ・行動観察などのアセスメントはできているが、標準化されたツールがあれば複数の支援員が入る場合に確認しやすいと思った。	個別性を大切にアセスメントを行っているが、標準化されたツールがある事でアセスメントの視点が整理されることにもつながると考えられるため、今後検討していく必要があると考えます。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0			

	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	チャットルームで前回の様子を共有し、検討できることは検討している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	チャットルームで共有、検討。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	8	0		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	8	0		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのごどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	まだくるくるとしてそういった機会がない。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5	3		外部研修の機会を職員に共有して、希望者が参加することができた。引き続き、研修会の参加を促したり、他の保育所等訪問支援事業とも連携して、支援の質の向上を図りたいと考えます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5	3	状況がわかっていないのでいいえとしました。	法人を通して協議会や地域の子ども・子育て会議の話聞く機会がありますが、訪問支援員が直接参加する機会はまだ設けられていませんので、参加について検討していきます。
	25	日頃からごどもの状況を保護者と伝え合い、ごどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	もっと保護者と話す機会を作ってもいいのかなと思いますが、お互い忙しくどのようにしていくのがいいのか検討が必要	
26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5	・ご家族が参加できる催しをくるくるとしては開催していない。 ・訪問した内容についての報告、それにともなく家庭の工夫等お伝えはしているが、直接家族への支援という意味ではリハ等普段から関わっていないとなかなか難しいと思うので、今後そういった家族への支援をどうしていくのかは検討が必要	適宜、家族に対する情報提供は行っているが、家族等が参加できる研修の機会については設けていません。今後二、三も確認し、開催を検討していきたいと考えます。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	8	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、ごどもや保護者の意思の尊重、ごどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、ごどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	8	0	・HUGを用いて実施。個別支援計画の備考欄に、詳細に目標を設定した経緯を載せている。 ・直接説明していない場合もあるが、HUGで公開して同意をいただいている。質問等がある場合は、訪問した際にお話を伺ったり、メールやお電話でお話を伺っている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6	2	・まだそのような機会がないためいいえとしました ・そういった機会がまだない。	そのような機会がなく支援を行うことはできていないが、今後家族等からの相談に対して支援を行っていきたいと考えます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	3	法人全体として行っている。	

	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	34	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	4		法人全体の通信の中で、事業の紹介を行った。引き続き、定期的な情報発信をおこなっていきたいと考えます。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	8	0	サポート的機能を利用するために、訪問先の先生とともに支援学校へ訪問したことがあった。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	6	2	訪問支援の中で、訪問先施設とお話する時間を設け、適宜カンファレンスの時間を確保している。訪問先施設のスケジュールも考慮して資料を作成したり保護者を通じて伝える工夫をしている。	訪問先施設での相談やカンファレンスが難しい場合は電話対応などで対応しています。訪問先施設の活動に支障が出ない方法を検討し、カンファレンスを行っていきたいと考えます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	8	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	8	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	6		契約時に、事故防止、緊急時、感染症対策については説明を行っている。マニュアルの作成や訓練の実施は行うことができていず、今後実施していく必要があります。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	6		安全には十分配慮して支援を行っているが、研修や訓練などの受講はできていないため、安全計画の作成や研修受講について検討していきたいと考えます。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	2		法人全体で人権や虐待に関する研修を開催しており、引き続き対応を続けていきたいと考えます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	0	8	児童発達支援計画には載せていない。	身体拘束を今までの支援で行ったことはないが、どのような場面で必要になるかについては保護者への説明や計画書への記載ができるように検討が必要であると考えます。